

〈取組み内容〉脱炭素への取組みの一環として、メイン金融機関と共同で脱炭素事業計画を策定した。カーボンニュートラルと、経済発展の同時達成をすべく、省エネ・再エネ設備の拡充を目指す脱炭素に向けた新工場建設に着手し、令和6年1月に竣工。新工場内の照明は全てLEDを採用、電源スイッチの細分化や人感センサー機能により不要な場所の照明は自動消灯・節電を採用。空調は排気だけではなく、吸気も行う換気設備を導入し空気の流れを制御することで負荷を軽減、冷暖房コストを抑える。印刷機からの熱を速やかに外へ排気し外部より吸気ができるよう設計・工夫し室内の温度上昇を抑制。

～脱炭素に向けた新工場概要～

令和6年1月16日完成

【写真①】 自家消費型太陽光発電設備を設置

【写真②】 省エネ・省資源、印刷時に放出される有害化学物質の低減、騒音低減などに取組める、より環境負荷の少ない印刷機「リスロンG40 アドバンス」を新たに導入

【写真③】 既存の工場にも据付している、デマンド監視装置を新工場に導入し、「電力の見える化」による省エネに取り組んだ。

【写真④】 EV充電設備を設置し、EV車を購入した。(令和6年1月購入)

【写真⑤】 電動プラッターを購入し、新工場で使用、充電している。(令和5年9月購入)

【写真①】



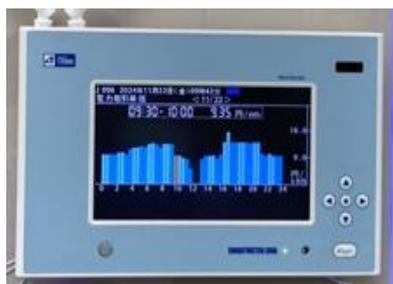
【写真②】



【写真⑤】



【写真③】



【写真④】

